

第6回 先進科学セミナー

東京海洋大学（海洋生物資源学科）

吉崎悟朗 教授

“魚類の生殖細胞操作： サバにマグロを産ませる”



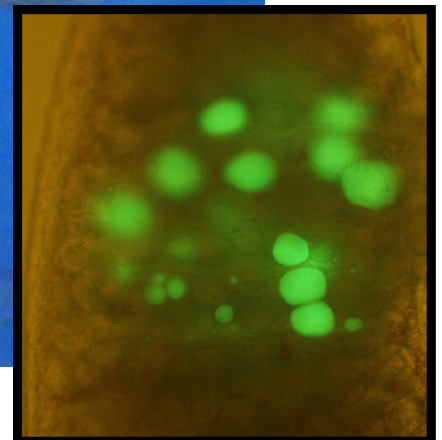
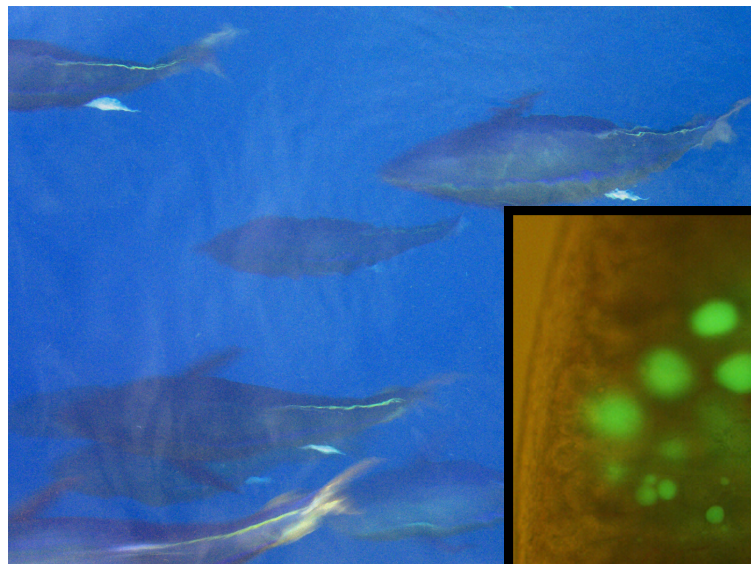
現在クロマグロを始め多くの魚たちが、乱獲や、環境破壊によって減少しています。もし、サバのような小型で飼育が容易な魚種がクロマグロの卵や精子を作るようになれば、100kgをこえる巨大なマグロの親を飼育する必要がなくなり、陸上の小型水槽でマグロの受精卵を簡単に生産することが可能になります。また、凍結細胞から生きた魚を作れるようになれば、絶滅が危惧されている魚種の遺伝子資源を半永久的に凍結保存し、これらの細胞をいつでも個体に改変することが可能になります。演者らの研究でこれらの話が現実のものになりつつあります、本講演では、その方法と原理、展望を紹介します。

日時：

12月2日(金)

16:30-18:00

場所：津山高専
(合併教室)



学生、教職員の皆さま、気軽に参加してください

問い合わせ先：前澤孝信（先進科学系）maezawa@tsuyama-ct.ac.jp